

Ⅱ 教育活動の概要

(1) 平成元年度カリキュラム運営

カリキュラム委員会
委員長 多田 敦

平成元年度のカリキュラム委員会は、自然環境、環境改善分野の委員が交代し、他の分野の委員は留任した。本年度の主な特徴は、非常勤講師枠がきびしかったため、環境科学特別講義Ⅰ・Ⅱを学内教官が担当し、これを学内に公開したこと(テーマ「地球環境をめぐる諸問題」2単位10回)、広領域プログラムを平成2年度から出発させるため、担当委員会と連絡をとり、従来のカリキュラムとの整合性を検討したことなどである。

1. 新入生ガイダンス

昨年とほぼ同様の方針で、以下のような日程で開催した。

ガイダンス日程表

	午 前	午 後
7日 (金)	入学式(10:00~10:26)	新入生ガイダンス(13:00~) C103 1. 研究科長挨拶 (13:00~) 2. 全体の概要と諸注意 3. カリキュラム関係の概要説明(13:30~) 4. 共通科目の概要説明 (14:00~) 5. 環境科学実習の説明 (14:15~) 6. 就職委員会の概要説明 (14:45~) ＜休憩10分＞ 7. 教職員の紹介(各自1分) (15:10~) 8. 新入生自己紹介(各自1分)
10日 (月)	分野別ガイダンス C103 自然環境(9:00~)〔河村, 佐藤(正), 古藤田, 安仁屋, 松本(栄), 小林, 田瀬, <鈴木>〕 生物環境(10:00~)〔岩城, 高野, 藤伊, 藤井, 及川, 前田, 斉藤, 中村(徹), <腰塚>〕 生産環境(11:00~)〔大羽, 石塚, 多田, 臼井, 手塚, 東, 前川, 森下, 佐久間, 関, 久島, 松本(宏), <坂本>〕	分野別ガイダンス C103 環境改善(13:00~)〔中村(以), 藤木, 山口, 中原, 国府田, 下條, <島田>〕 環境政策(14:00~)〔河野, 中山, 鶴野, 北畠, 佐藤(俊), 安田, 吉川, <森島>〕 環境計画(15:00~)〔黒川, 梶, 池原, 川手, 谷村, 土肥, 天田, 糸賀, 岩崎, 石見, 熊谷, 小泉, 佐藤(洋), 田島, 日端, 石田, 齋木, <鎌田, 渡辺>〕
11日 (火)	2年生修士論文テーマ発表会 C103 (9:00~12:30, 13:20~15:10) 発表時間:一人3分(発表1分, 質問2分) 口頭により学籍番号順に発表する。	2年生ガイダンス<2年生> C103 (15:30~16:30) 1. 研究科長挨拶 2. カリキュラム・修論について 3. 就職について *新入生歓迎交歓会* 主催2年生 第三学群食堂 (18:30~21:00) 新入生・2年生・教職員参加

2. 2年生の研究テーマ発表と研究計画の登録

標記事項は、4月11日(火)9:00~15:10に開催し、以下のとおりとりまとめられる。

なお、欠席者は、修論担当教官によって確認された為、研究計画の登録が行われたものと認定した。

4月1日現在

在籍者	107名	
(内 休学者	2名)	
発表者	93名	} 小計105名
欠席	6名	
昨年度発表済者	6名	
平成元年度研究計画登録者	98名	

3. 環境科学Ⅰ・Ⅱ

共通必修科目である環境科学Ⅰ・Ⅱは、昨年ひきつづき本年度も岩城教授・川手教授をそれぞれ世話人として以下のような内容で実施した。

環境科学Ⅰ.			環境科学Ⅱ.		
月日	テーマ	担当教官	月日	テーマ	担当教官
1) 4月17日	総論	岩城 英夫	1) 4月14日	プロジェクト評論	安田八十五
2) 4月24日	地水環境	古藤田一雄	2) 4月21日	環境と水管理	天田 高白
3) 5月1日	大気環境	河村 武	3) 4月28日	資源管理と地域計画	佐藤 洋平
4) 5月8日	海洋環境	高野 健三	4) 5月12日	社会資本形成	小泉 允園
5) 5月15日	科学物質と環境	手塚 敬裕 石塚 皓造	5) 5月19日	環境デザイン	田島 学
6) 5月22日	土壌環境	大羽 裕	6) 5月26日	自然環境保全	糸賀 黎
7) 5月29日	陸域生態系(植物)	及川 武久	7) 6月2日	土地利用と環境	日端 康雄
8) 6月5日	陸域生態系(動物)	藤井 宏一	8) 6月9日	環境と経済	北畠 能房
9) 6月12日	水域生態系	前田 修	9) 6月16日	交通システム	石田 東生
10) 6月19日	環境と人間	山口 誠哉	10) 6月23日	環境と廃棄物	中村 以正
11) 6月27日	<期末テスト>		11) 6月30日	<期末テスト>	川手 昭二

4. 修士論文中間発表

研究科全体の中間発表会を9月6日(水)9:00~15:30に開催した。以下のとおりまとめられる。分野別中間発表会は、9月~10月上旬にわたり各分野で開催された。

在籍者	107名
(内 休学者	4名)
発表者	98名

5. 環境科学特講

環境科学の最新の諸問題をトピックスとしてとりあげる環境科学特講は、本年度はⅠ~Ⅲを開講した。特講Ⅰ、Ⅱは、「地球環境をめぐる諸問題」として、学内の教官が担当した。特講Ⅲは、本研究科の外人講師 Slobodkin 先生が講義した。なお世話人教官は、多田教授、安田助教授、Ⅲは藤井教授が当たった。

環境科学特講Ⅰ.Ⅱ

月 日	テ ー マ	担当教官
1) 10月11日	大気環境	河村 武
2) 10月25日	海洋環境(地球温暖化とのかかわり)	高野 健三
3) 11月 1日	水分環境(降雨と乾湿)	古藤田一雄
4) 11月 8日	二酸化炭素と陸上生態系	及川 武久
5) 11月15日	熱帯雨林の破壊と地球環境	熊崎 実
6) 11月22日	環境化学物質による地球環境	白井 健二
7) 11月29日	酸性雨と土壤環境	大羽 裕
8) 12月 6日	地球規模の環境経済	北畠 能房
9) 12月12日	国連「国際防災の10年」の働き	梶 秀樹
10) 12月20日	総合討論	安田八十五

環境科学特講Ⅲ

“Ecology as movement and as Science”

月 日	テ ー マ	担当教官
1) 10月28日	History of European Attitudes	L.B. Slobodkin
2) 11月 4日	Ecological Management	L.B. Slobodkin
3) 11月11日	Basic Difficulties	L.B. Slobodkin

6. 修士論文発表会

昨年度に引き続き、カリキュラム委員会が担当して、平成2年2月5、6日の2日間にわたって、1人当たり17分(発表12分、質疑5分)の発表会を行った。

在籍者	107名
休学者	2名
発表者	96名(内 留年・退学各1名*)
留年者	8 + 1 *名
退学者	1 + 1 *名
修了者	94名